

HCJB 日本語放送60年の歩み(4)



(HCJB 放送局玄関の庭にて) 1980年

HCJB 放送局はエクアドルの首都キトの北側ですが、西側に聳えるアンデスの峰々の谷間に抱かれ南北に細長く広がっている景勝地です。国際空港に降り立って市内へ向かう幹線道路の周辺には、ショッピング・モール、競馬場跡の市民広場、サッカー・スタジアム、闘牛場などがあり市民で賑わっています。HCJB もその一角にあり、放送局としての施設だけではなく、局の向かい側には総合病院 **VozAndes** ボス・アンデス (アンデスの声) 病院があり、隣接した **Alliance Academy** (アライアンス・アカデミー) では幼稚園から高校までアメリカ英語で学ぶことができ、近くに教会もあって、それこそ HCJB 家族にとっては仕事と生活に不備のない理想的な生活環境でした。

私たち家族は子供たちの生まれ故郷がそれぞれ違います。まず、長男の道夫が日本で生れて間もなく渡米。長女の慶子は北米各地の教会を巡回しているうちにインディアナ州の病院で生まれ、次男の祐二は HCJB 放送局の向かいにある **VozAndes** (アンデスの声) 病院で日本人第一号として生まれました。そのため日本駐在のエクアドル大使から特別にお祝いいただいたことがあります。

放送局とは向かい合わせがボス・アンデス (アンデスの声) 病院があるので、HCJB で働く宣教師家族をはじめ、一般市民や、旅行者などの緊急センターとして、日夜救急車が入り出していました。体調をこわしたり、怪我をしたり、自殺未遂で担ぎこまれたりしましたが、中国人旅行者が担ぎ込まれた時には言葉が通じないのでよく呼び出されて漢字で書きながら世話をさせてもらっていました。バスから降り損なって足を痛めた人や、犬に噛まれて狂犬病予防の処置をしてくれと駆け込んできた旅行者、腰痛で悩んでいる船員さんの処置など、人種や年齢を問わず、二十四時間体制の緊急病院として貴重な役割を果たしていました。病院の隣にはアライアンス・アカデミー校があり、我家の子供たち3人は幼稚園から高校までお世話になりました。長男と次男はサッカー部で、長女はバレー部で活躍し、孫娘のエミは現在もアリゾナ大学のバレーの優秀選手として母親と同じ背番号で妙技を發揮しています。以前、日本語放送50周年記念のパンフレットのデザインを創案してくれた田辺裕一郎君は、アメリカの美術大学を卒業してパソコン・ゲームの開発にすすみ、2019年には「SKY-風の旅人」を発表して iPhone Game of the Year の栄冠に輝きました。

エクアドルの日本人会長を長年務められ、日本政府から受勲された内田さん家族にもいろいろと助けていただきました。ご主人には年末特集「エクアドルこの一年」を担当していただき、奥様には受信報告書の返信をはじめ、「お便り交換」の番組ではリスナーからの手紙をいっしょに読んでいただき、ドラマでは母親役を、二人のお嬢様には本の朗読やドラマなどで大いに活躍していただきました。アンデスの空から飛び立った次世代を担う子供達の活躍をこれからも楽しみに期待しているところです。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
4月 6日	マリンバの調べ：ハンガリアン・ラブソナタ他	4月 7日	聖書遊覧バス：旧約聖書 詩篇 40 篇
4月 13日	アメリカ新発見 (26) カリフォルニア州 (1)	4月 14日	リスナーからの「お便り交換の時間」
4月 20日	女ばかり南米大陸をゆく：南米大陸最南端パタゴニア	4月 21日	聖書遊覧バス：旧約聖書：聖書遊覧バス 詩篇 4 1 篇
4月 27日	特別番組：HCJB 日本語放送60年の思い出 (1)	4月 28日	聖書遊覧バス：旧約聖書：聖書遊覧バス 詩篇 4 2 篇

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3 形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 17650kHz (再放送) 午後8時~8時半 15460kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

